

## 第5回香南市学校等の規模適正化等基本計画検討会議 議事録（要旨）

日時：令和6年7月30日（火）15：10～17：40

場所：香南市役所 601、602 会議室

出席：教育長、教育次長、学校教育課長、こども課長、生涯学習課長、防災対策課長、企画財政課長、地域支援課長、香我美支所長、赤岡支所長、夜須支所長、吉川支所長、農林水産課長、建設課長、契約管財課長、赤岡小学校長、野市中学校長、こども課2名、生涯学習課1名、事務局2名

### ○学校等の規模適正化等基本方針に対するアンケート結果の報告について

#### 【説明】

令和6年4月から6月にかけて、学校等の規模適正化等基本方針に対する意見聴取用のアンケート調査を実施した。いただいた意見等は「規模・校区・津波対策・その他」の4項目に分類し集計を行った。規模についての主な意見は、「1クラス数人規模ではなく多い方がいい」が5件、「小規模ならではの良さがあるので残して欲しい」が5件、「統合によることで負担が懸念される」が5件となっている。校区については、「まずは校区の見直しが優先」が6件、「再編の際にはスクールバスの運行を検討して欲しい」が5件、「野市小学校区が拡大して人数が多くなると、学習面や生活面などの心配事が増える」が3件となっている。津波対策については、「子どもの安全対策を最優先に統合を進める方が良い」が13件、「統合により学校がなくなると寂れてしまうと思うが、津波対策は一番重要だと思う」が4件、「最近の地震の発生状況を考えると、仕事中は子どものことを守ることができないため、学校の耐震化や高台に位置することは絶対条件」が2件となっている。その他の意見等については割愛。

地区別の意見としては、野市、香我美地区は、再編の必要性についての意見や通学路の安全対策、教員不足に対することなど、現在の学校等に対する要望等が多い状況となっている。吉川、赤岡、夜須地区においては、津波対策としての再編の必要性についての意見や学校存続の意見等が多くなっている。

### ○アンケート結果を受けた再編パターンについて

#### 【説明】

保護者や地域住民からいただいたご意見等をもとに、複数の再編パターンを作成し、今後提示する再編案について検討を行うため、学校教育課から小中学校の再編案、こども課から保育所・幼稚園の再編案について説明を行った。

#### 【協議内容】

事務局から説明した再編パターンについて、あらゆる側面から考えても再編が不可能なものがあれば意見をいただきたい。

- ・各再編パターンにおける児童・生徒数は、基本方針にある地区ごとの推計を組み合わせで作成したものであるため、校区の見直しで人数を調整したパターンは人数把握が困難で作成できていないが、そういうバリエーションも可能と考えている。
- ・今後も野市で開発が進めば、野市の保・幼に入れるものと思って転入者も増えるのでは。そうなった場合、野市の再編も必要となってくるのではないかと。
- ・津波浸水想定区域にある学校の高層化は無理だと思う。立体的なことで津波を避けることは現実的でない。
- ・基本方針に沿わない再編パターンを示すのか。
- ・再編案に対する事業費は算定できるのか。増築や新築、土地のあるなしなど、またパターンによって起債が使える使えないも出てくる。総事業費ではなく、市の持ち出しがいくらになるかが重要となってくる。
- ・全てのパターンを提示するのか。金額面以前に現実的でないものは省くのか。いろんなパターンを示すのは大事であるが、市として、教育委員会として最も大事に考えていることはこれで、次はこれという示し方はできないのか。最初の答申を貰った際には、規模適正化は重要であるが、それ以前に、特に保・幼については園児の命を守ることが第一で、まずそこを優先して動くということだったと記憶しているが。
- ・いろんな意見があるが、行政としては守らなければならない命の事を考えると優先すべきことがあるのでは。
- ・保・幼を規模適正化と切り離して優先的に動けないのか。訓練では避難できていても、今想定される地震が起こったときに逃げられるのか。
- ・教育環境の規模適正化においては、適正化と適正配置の両方がある、教育環境の整備ってというのが大前提にある。その中には安全性を確保したうえでの教育環境の整備があると考え、再編パターンはもっと絞り込んだ方がいいのでは。
- ・今回の再編パターンを優先付けできないか。
- ・野市の一部では人口が増え続ける状況があるが、それ以外のところは明らかに人口減少が続いている。規模適正化の一番の目的は、将来を見据えてどうしていくべきかではないのか。
- ・津波浸水想定区域内にある学校については、津波浸水想定区域外の学校への統合が決まっていると地域に伝わっているため混乱があったと思うが、今回の再編パターンにあるように、地域の意見を吸い上げたかたちの再編案も提示いただくと地域も納得すると思う。
- ・野市中学校のことだけを言えば、津波浸水想定区域外ではあるが、各学年 5 クラスあり、特別支援学級も増えている状況であるため、これ以上人数が増えるとキャパオーバーとなる。野市小学校も同様の状態だと思う。

※保護者や地域住民に提示する再編パターンについては、継続審議とする。